

文京区

文京区における精神障害者にも対応した 地域包括ケアシステム構築の推進

文京区では、精神障害のある人も、同じ区民の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された文京区の地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

文京区



取組内容

- 3つの会議体（地域移行支援検討会議・精神障害者支援機関実務者連絡会・地域生活安定化支援会議）で3つの軸（地域基盤の整備・支援体制の整備・個別支援の検討）に沿った議論を行い、課題を抽出。地域精神保健福祉連絡協議会を協議の場と位置付け、課題を報告。にも包括構築に向けた体制整備を検討する。
- 心のサポーター養成研修
- ピアイベント開催
- 長期入院医療機関調査
- 措置入院者の退院後支援

障害保健福祉圏域数（R8年5月時点）		0	か所	
市町村数（R8年5月時点）		1	市町村	
人口（R8年5月時点）		237,437	人	
精神科病院の数（R6年6月時点）		4	病院	
精神科病床数（R6年6月時点）		131	床	
入院精神障害者数 （R6年6月時点）	合計	108	人	
	か月未満（％：構成割合）	6	人	
		5.5	％	
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	21	人	
		19.4	％	
	1年以上（％：構成割合）	81	人	
		75	％	
うち65歳未満	28	人		
うち65歳以上	53	人		
退院率（R6年6月時点）	入院後3か月時点		％	
	入院後6か月時点		％	
	入院後1年時点		％	
心のサポーター養成者数（R8年5月時点）		364	人	
相談支援事業所数 （R7年5月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所	
	一般相談支援事業所数	2	か所	
	特定相談支援事業所数	19	か所	
保健所数（R8年5月時点）		1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度 （R7年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	2	回／年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有 無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R8年5月時点）	都道府県	有・無	か所	
	障害保健福祉圏域	有・無	／	か所／障害圏域数
	市町村	有 無	1 1	／

① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業（地域生活支援促進事業）

※ 地域生活支援事業に含まれる事業やその他の補助事業のうち、国として促進すべき事業について、「地域生活支援促進事業」として特別枠に位置付け、5割等の補助率を確保し、質の高い事業実施を図るもの。

- 保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、行政職員、医療機関の職員、地域援助事業者、当事者、ピアサポーター、家族、居住支援関係者等の様々な立場の者が協働し、市町村、障害保健福祉圏域等の単位で精神保健医療福祉に関する重層的な連携による支援体制を構築する。また、精神障害者等の日常生活圏域を基本として、市町村などの基礎自治体を基盤として進めていく必要があることから都道府県等は市町村との協働により、精神障害者等のニーズや、地域の課題を共有化した上で、地域包括ケアシステムの構築に資する取組を推進する。

<実施主体> 都道府県・指定都市・特別区・保健所設置市

【事業内容】（1のうち協議の場の設置は必須とする）

1. 精神保健医療福祉体制の整備に係る事業
2. 普及啓発に係る事業
3. 住まいの確保と居住支援に係る事業
4. 当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業
5. 精神医療相談・医療連携体制の構築に係る事業
6. 精神障害を有する方等の地域生活支援に係る事業
7. 地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業
8. 市町村等における相談支援体制の構築に係る事業
9. その他、地域包括ケアシステムの構築に資する事業

地域精神保健福祉連絡協議会を開催

「心のサポーター養成研修」を実施

ピアイベント「ピアサポートを知ってつながろう」開催

長期入院医療機関調査を実施

措置入院者の退院後支援を実施

- 令和元年度 地域精神保健福祉連絡協議会を協議の場として位置づけ
- 令和2年度～ 措置入院者の退院後支援を実施
- 令和4年度～ 「心のサポーター」養成研修を実施
- 令和6年度～ ピアイベント「ピアサポートを知ってつながろう」を開催
- 令和7年度 長期入院医療機関調査を実施

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
「文の京」 総合戦略		R2～R5			R6～R9		
		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 精神障害者の地域における支援体制の構築・強化を図るため、保健・医療・福祉関係者等による協議の場を設置するなど、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。			精神障害者の地域における支援体制の構築・強化 精神障害者が地域で安心して暮らしができるように、保健・医療・福祉関係者等、精神障害者の地域支援に関わる関係者等において、保健医療・障害福祉の両方の視点から地域の課題等の議論を深め精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。		
文京区 地域福祉保健計画	障害者・児計画	R3～R5			R6～R8		
		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 保健・医療及び福祉関係者による協議の場を通じて、重層的な連携による支援体制を構築するための議論を行います。					
	保健医療計画	H30～R5			R6～R11		
		精神保健医療対策では、入院医療中心から地域生活中心への移行を促進するために、当事者や家族等が地域で安定した生活を送ることのできる支援体制を充実していきます。			精神保健医療対策は、入院医療中心から地域生活中心への移行を促進するため、精神疾患に対する誤解や偏見をなくし、当事者や家族等が地域で安定した生活を送ることのできる精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療・障害福祉・介護、住まい、住民参加(就労)、地域の助け合い、教育に関する施策の取組を充実していきます。		
文京区 地域精神保健福祉連絡協議会							
		地域精神保健福祉施策を、関係機関との連携を図りながら体系的かつ総合的に推進するため、精神保健福祉対策に関すること、関係機関、関係団体との連絡及び協力の確保に関すること、精神保健福祉の知識の普及に関すること、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に関すること、精神保健福祉施策の推進に関することを協議する。					
		OR1年精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議会として位置づけ ○協議会に求められる役割を整理 ○地域の課題の共有のためのアンケートを実施 ○地域アセスメントの共有(コア会議、他の会議体からの意見を集約) ○地域ビジョン(地域のあるべき姿)と具体的な目標の設定 ○役割分担と令和6年度以降のロードマップを作成	○コア会議でピア活動についての意見交換 ○ピア活動についての情報収集と課題整理 ○実務者連絡会でピアサポートを取り上げる	○ピアプロジェクトチームの発足 ○ピアサポート交流会の開催 ○協議会で「ピアサポーターを知らう」講演	○普及啓発の取り組み推進 ○長期入院者医療機関調査実施 ○コア会議で長期入院者調査について意見交換		

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①地域精神保健福祉連絡協議会を「協議の場」として位置付け	協議会：2回 コア会議：2回	協議会：2回 コア会議：2回	協議の場として位置付け、コア会議を開催。既存の会議体（地域移行支援検討会議・実務者連絡会・地域安定化会議）を利用し、3つの軸（地域基盤の整備・支援体制の整備・個別支援の検討）に沿った議論を行い、課題を抽出し、対応検討。
②地域移行支援会議	4回	4回	ReMHRADを基に、文京区民が長期入院中と思われる全国の医療機関へアンケート調査実施。89%の医療機関から回答を得た。
③精神障害者支援機関実務者連絡会	3回	3回	実務者の協議の場として、普及啓発を学ぶ勉強会を実施。意見交換を行い、課題を抽出。
④地域生活安定化会議	4回	4回	区独自事業。障害福祉サービス利用対象外の対象者に対して、伴走型支援・アウトリーチ支援を実施。
⑤措置入院者退院後支援事業			ガイドラインによる計画作成の有無を問わず措置入院者のいる医療機関へ連絡を入れることで医療機関への退院後支援の周知となった。
⑥心のサポーター養成研修の実施	3回開催	3回開催 127名が受講	養成研修受講者120人を心のサポーターとして認定。認定証を交付した。

【特徴（強み）】

- ・区内に企業や教育機関、大学病院をはじめとした精神科医療機関が多くあること
- ・精神障害者支援機関との連携体制があること。
- ・基幹相談支援センターや地域生活支援拠点など相談窓口が整備されていること。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
長期入院者の地域移行に向けた、効果的な支援方法と支援体制を検討	・長期入院者調査（病院訪問）の実施と分析 ・地域移行支援、特定相談・一般相談連携機能強化支援事業補助金の活用	保健	事例を通した、地域移行の阻害要因検討 医療・福祉分野との連携
		医療	調査協力、地域との連携
		福祉	入院中からの相談、退院後の居場所
		その他関係機関・住民等	心のサポーターとして身近な人の手助け
普及啓発	・ピアサポーター交流会の実施 ・ピア活躍の場の検討 ・心のサポーター養成研修の実施	保健	心のサポーター養成研修の実施 ピアサポーター交流会の実施
		医療	ピア活躍の場醸成
		福祉	ピア活躍の場醸成 ピアサポーターの創出
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8年度当初)	目標値 (R 8年度末)	見込んでいる成果・効果
①長期入院者の訪問調査			地域移行における地域づくり検討の資料とする
②心のサポーター養成研修修了者		150名	身近な人の手助けができる人材の増加
③ピアサポーター交流会の実施		1回/年	ピアの横のつながりができる

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

【にも包括構築の体制】

予防対策課を主管課として、福祉部と協働し、医療機関、障害福祉サービス等事業所、精神保健福祉センター、当事者、家族会等が参画する協議会（協議の場）と連携しながら、地域保健をベースににも包括の構築を推進。

所管部署名（※）	所管部署における主な業務
予防対策課	協議の場の運営。精神障害者各種事業
障害福祉課	知的・身体障害者の相談・支援

（※事務局を担当する部署）

連携部署・機関名	連携部署・機関における主な業務
保健サービスセンター	健康相談・保健指導（母子・精神・難病）
生活福祉課	生活保護・生活困窮者自立支援相談
高齢福祉課	高齢者の相談・支援
福祉政策課	保健福祉の連携・地域共生社会の推進

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	予防対策課を中心とした措置入院者の退院後支援を実施。保健サービスセンターでは、精神保健に関する相談や訪問指導を行い、医療機関や事業所と連携して支援。	保健所事業や地区活動を通して、精神障害者に限らず精神保健に課題を抱える住民からの相談や家族・医療・福祉部門からの相談に対応。
医療	協議の場に医療関係者が参加。退院後支援や個別ケースを通して、担当者会議に参加。	協議の場や個別支援を通して、医療機関へ区の支援体制を周知することで連携が取りやすくなっている。
福祉	退院後支援や個別ケースを通して、相談支援事業所、障害福祉サービス等事業所が医療機関や保健所と担当者会議に参加。	個別支援を通して、医療機関・区と情報交換を行っている。精神障害者ホームヘルパー研修を実施。
その他関係機関・住民等	協議の場に家族会、当事者が参加。	家族会と区内支援者が協働し、家族会と当事者会を隔月で実施。

名称	協議の場の構成員	開催 頻度	実施内容	既存の会議体を活用している場合は その名称・課題・強み等
地域精神保健福祉連 絡協議会	保健：精神保健福祉センター	年2回	・地域保健福祉施策の協議	年2回情報交換のため専門部会開催
	医療：医師・薬剤師・訪問看護師・精神保健福祉士			
	福祉：社会福祉区協議会・精神障害施設・介護事業者・基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等：民生委員・家族会・当事者			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための 協議の場に関連する会議等の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
地域移行支援会議	保健：保健サービスセンター・精神保健福祉センター 医療： 福祉：生活福祉課・障害福祉課・高齢福祉課、地域生活支援センター、地域生活支援拠点、基幹相談支援センター、相談支援事業所、都地域移行コーディネーター その他関係機関・住民等：	年4回	・地域の実情に応じた施策・制度等の検討 ・長期入院者退院後報告 ・長期入院者調査 ・移行支援の取り組み検討	高齢者の移行支援が課題 R7年度長期入院者に対して量的調査を実施 R8年度は質的調査を実施予定
精神障害者支援機関実務者連絡会	区内精神障害者支援機関・医療機関関係者やその他支援職	年3回	・体制構築に向けた課題抽出 ・直近のトピックスを取り上げて学び合う ・申込のあった区内精神障害者支援機関職員が出席	支援者同士の顔の見える関係づくりの機会
地域生活安定化会議	保健：保健サービスセンター 医療：医師 福祉：地域活動支援センター・基幹相談支援センター その他関係機関・住民等：	年4回	・安定化事業対象者の支援状況の共有と検討 ・個別ケースから見える地域課題の抽出	障害福祉サービス対象外の方へ地域活動支援センターが支援を行う区の独自事業

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

10 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（短期）

到達目標 (R8年度)	・長期入院患者の地域移行に向けた支援の在り方を検討する。 ・長期入院者調査の結果を分析し、今後の地域づくりに向けた基礎資料として活用する。	
時期（月）	実施内容	具体的な取組
R8年		
年2回	地域精神保健福祉連絡協議会	各会議体から抽出された課題を報告し、にも包括構築に向けた取り組みの議論を行う。
年2回	コア会議	地域移行、長期入院者をテーマに意見交換を行う。
年4回	地域移行支援会議	長期入院後退院者報告 R7年度長期入院者医療機関調査結果を基にして病院訪問を行う。
年3回	精神障害者支援機関実務者連絡会	性恋愛に対する相談対応・居住支援をテーマとして連絡会を行う。 事例検討を実施し、実務者間で意見交換をする。
年4回	地域生活安定化会議	事業利用者（障害福祉サービス対象外の方）への支援状況を共有し、個別支援の事例検討を行う。
10月	心のサポーター養成研修	オンライン1回と対面形式2回で計3回心のサポーター養成研修を行う。
年1回	ピアサポート活動発表交流会	文京区におけるピアの活動発表、参加者交流会を行う。
年1回	ホームヘルパー研修	ホームヘルパー、ホームヘルパー業務に関心がある方を対象に精神疾患の基礎知識・支援に関する講義と実習を行う。
	措置入院者の退院後支援	措置入院者に対し、入院中から退院に向けた体制構築を行う。医療・福祉・介護などの継続的な支援を切れ目なく提供する。